

保護者アンケート・学校自己評価の数値結果より

保護者アンケート、学校自己評価の集計がまとまりましたのでお知らせします。

浄水中学校保護者アンケート・学校自己評価 集計結果

【とてもよくしている； 4 だいたいしている； 3 あまりしていない； 2 していない； 1 わからない； 0】

番号	項目	保護者アンケート R7	学校自己評価 学校職員
1	保護者の取組	3.32	
2	学校から出される文書を読んでいますか。	3.81	
3	参観日や体育祭・合唱コンクールなどの学校行事へ参加していますか。	3.49	
4	お子さんと学校のことを話していますか。	1.81	
5	P T C A 活動、学校のボランティア活動、地域学校共働本部の活動などに参加していますか。	2.87	3.32
6	教育目標	3.58	3.35
7	学校特色	3.53	3.10
8	施設管理	3.46	3.30
9	家庭連携	3.07	3.05
10	学習指導	2.82	3.22
11	学習指導	2.54	3.00
12	学習指導	2.73	3.05
13	学習指導	3.24	3.05
14	道徳教育	3.31	3.07
15	教育相談	3.00	3.20
16	特別活動	3.47	3.17
17	生徒指導	3.06	3.10
18	生徒指導	2.66	3.17
19	健康指導	2.97	3.10
20	図書館	2.37	2.87
21	情報指導	2.73	2.97
22	安全教育	3.41	3.07
23	安全教育	3.02	2.85

【評価いただいた項目例】

⑥「特色ある学校づくり推進事業を活用し、特色ある教育活動を行っているか」(3.58)
⇒本校の強みである、地域資源（ヒト・モノ・コト）を積極的に活用し、地域のお店とのコラボや地域の竹の活用品などをまごころフェスタで発信しました。さらに、本年度は地域の方に見守っていただきながら、10周年記念式典を行うことができました。今後も、地域の中で生きる中学生として、地域とのかかわりを大切にしていきます。

【力を入れたい項目例】

⑳「読書環境を整え読書に親しむ活動を進めているか」(2.37)
⇒図書委員会が図書貸出冊数増加に向けて、「図書館へ行こう！」「クラス対抗！貸出冊数王決定戦」などの取組を企画・実践しました。また、本校図書館司書が出前授業をしたり総合的な学習に関する図書資料を生徒に提供したりして、図書の授業活用効果を向上させました。今後も、図書に親しむ活動に取り組んでいきます。

<アンケートでいただいた主なご意見>

【評価いただいたご意見】

- まごフェスや合唱コンを通して、クラスの一体感や達成感が味わえるので今後も続けてほしい。
- 地域と連携して子どもたちを支える浄水の取組がとても気に入っています。
- まごフェスや学校行事や学年レクなど、生徒が高い意欲を持って活動し、先生方の指導とサポートが素晴らしく、楽しく充実した学校生活を送れていることに感謝しています。
- 子どもの自主的な判断に基づく多様な教育活動の展開については、ぜひ継続、拡充してほしい。
- 子供の個性や特性に合わせて柔軟に対応してくれているのが、とても良いと思います。
- 学習について質問に行った際には、気軽に、でもしっかり答えてくれるところがよい。

【改善を求めのご意見】

○学習指導について

▲勉強で行き詰まっている生徒にも手を差し伸べる指導をしてほしい。▲分からない子にも何かしらのアイデアをいただきたい。▲よくできる子とそうでない子の差が大きい。

⇒ 本校では、各教科部教員で指導の観点を共有したり、授業づくりの情報交換を行ったりして、生徒が主体的に学べる授業を目指しています。さらに、一人一人の学びに合わせた「個別最適な学び」や、仲間と意見交流して新たな学びを生み出す「協働的な学び」を取り入れた授業を行っています。また、学習につまずいている生徒に対しては、必要に応じて個別に声をかけたり、学習内容への質問にわかりやすく答えたりして、本人の不安解消に努めています。今後も、個々の現状を適切に把握し、必要に応じて教員同士で連携を取りながら個別の声かけをしていくなど、生徒の困り感への支援をしてまいります。

○自転車の乗り方について

▲ノーヘルや飛び出しを多々見かける。▲飛び出しが多く、何度も遭遇している。道路逆走もある。▲自転車の量が多すぎる。▲自転車走行ルールの再確認をしてほしい。

⇒ 本校では、定期的に自転車の乗り方について指導をしており、地域からのご心配の声をいただいた時には、教職員で情報共有し、具体的な場所や事案を示しながら全校統一の指導をしています。さらに、本年度は全校集会を開き、交通安全担当教員より通学路の危険個所の写真を示しながら、注意点を具体的に指導しています。また、今まで入学時のみの提出であった「自転車通学許可願」を毎年度初めに提出するようにし、「自転車通学者の約束」に目を通す機会を増やしています。今後も、生徒が自分自身への安全運転と、周りへの思いやり運転ができるように、粘り強く指導を続けてまいります。

○学習用タブレットの活用について

▲メリットや効果を感じない。むしろ好き放題使える端末になっている気がしてならない。▲学習の妨げになっているように感じる。あまり持ち帰らせないで欲しい。▲使い方セキュリティについて、もう少し徹底してほしい。

⇒ 本校では、豊田市が推進している「デジタル・シティズンシップ教育」に沿って学習用タブレットを使用しており、ICT機器の能動的な活用を目指しています。あわせて、本年度は「ネットモラル」に関する全校集会を開き、デジタル社会の危険性やマナー、生徒が被害者にも加害者にもなり得ることについても学びました。今後も学校で、身近なツールとして責任あるICT機器の使い方について指導していきますので、ご家庭でのご協力をお願いいたします。